

紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会

幹事会 産業振興分科会通信

平成19年11月発行 第2号

基調講演「紀勢道整備に伴う広域的な地域連携とまちづくり」を開催しました。

平成19年10月18日（木）午後6時から、三重県尾鷲総合庁舎5階大会議室にて、基調講演を開催しました。

本幹事会の副幹事長である石坂督規三重大学人文学部准教授が「紀勢道整備に伴う広域的な地域連携とまちづくり」をテーマに、講演会が行われました。

講演会では、三重大学の学生アンケートの結果を踏まえ、「他者との問題意識の共有」「資源の固有化、サービスの質の高さを伝播」等の広域的な地域連携とまちづくりにおける方向性を論じられました。

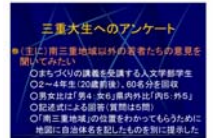
また、基調講演開始前には、本幹事会の幹事長である渡邊悌爾先生よりあいさつの言葉をいただきました。



基調講演終了後には、各分科会に分かれて、それぞれ活発な意見交換を行いました。



▲石坂先生の講演風景



▲基調講演の開催風景

『第2回産業振興分科会』の概要

第2回産業振興分科会の開催概要

<議論の方向性>

地域資源の整理と販売促進の検討

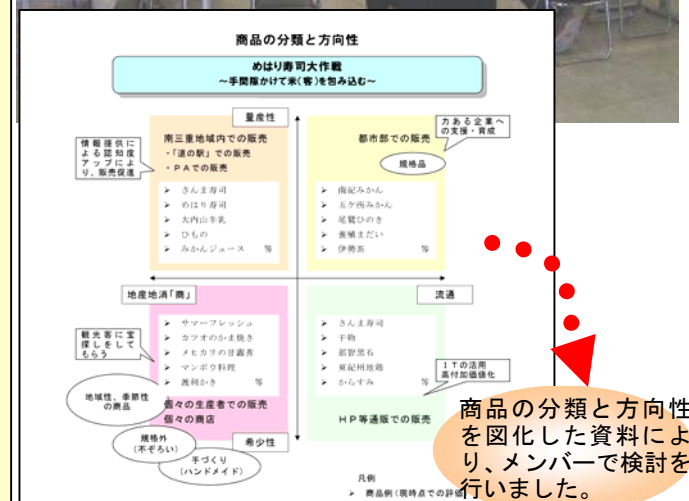
<提供資料>

- ①地域資源の整理と属性検討
- ②地域資源に対応するプロモーション検討
- ③調査データ紹介と情報提供方法の事例紹介

事前に資料を配布し、当日の分科会に望んでもらいました！

<分科会メンバーの主な検討事項>

- 地域資源としての特産品確認
- 販売促進方法の検討
(情報発信、販路の拡大・開拓)



商品の分類と方向性を図化した資料により、メンバーで検討を行いました。

■第2回産業振興分科会の検討結果の報告

第2回産業振興分科会では、

「各市町が共に勝つためのプロモーション戦略」を次回分科会の方向性としてしました！

<製品類型>

- ・ I型は零細生産者のための地産地消「商」のベース。
- ・ 地域外販売は、Ⅲ型、Ⅳ型を指向し、今後の展開はⅢ型を重視。
- ・ 当該分科会で検討する南三重ブランドは、特産品に関するもの。

<地産地消「商」>

- ・ 地域外販売が困難な等級外、B級製品の販売を考える。
- ・ 地産地消「商」のための等級外産品等はその理由を説明し、品質の良さを前提とした「わけあり良品」であることが必要不可欠。
- ・ 地域外からの来訪者を対象とする地産地消「商」には「地域外知名度の確立・拡大」が必要不可欠。

<地域外販促>

- ・ 地域の産業振興には地域外販売の拡大は重要な要素。
- ・ 地域外での販路拡大には、商売に徹してのプロのセールスが必要。
- ・ 紀勢道整備で来訪が増加する中京圏での知名度アップが必要。

<情報発信>

- ・ 地域外での情報発信が必要（東京・中京圏）
- ・ 地域外での取組みはフェアの他、継続的販売が望ましい
- ・ 地域内での産品を提供する情報発信拠点が必要（→「道の駅」）

<道の駅>

- ・ 「道の駅」はI型商品の販売が必要。
- ・ 「道の駅」は地域の零細生産者の受け皿となる。
- ・ 零細生産者でも「ここでしか買えないオンリーワン」とすることで売り上げを確保できる。
- ・ 「道の駅」では、他の「道の駅」や他地域情報を提供することで回遊性を高め、売り上げを向上させる。
- ・ 「道の駅」を地域観光起終点とする試みを進めている

<紀勢道整備>

- ・ 「道の駅」（地域内）に誘導するためのPAにおける情報提供が今後は必要。
- ・ 紀勢道が整備されれば南紀勝浦方面に向かう人が国道42号を利用する意味がなくなり、沿道は衰退する

<連携>

- ・ 紀勢道整備があつてこの会議があり、課題として連携が必要ということも考え始めた。
- ・ 小規模生産者、事業者が自ら連携ということは難しく、どうしても公共による情報提供、プロデュースが必要。

<生産体制>

- ・ 産業振興上は、零細生産者、事業者が連携・協働する必要がある。
- ・ 魅力ある商品のプロデュースと「道の駅」その他の情報提供が必要不可欠。

今後の方向性

分科会メンバーが考える方向性！

- 各市町が共に勝つためのプロモーション戦略の基本構想

①地域内での総合プロモーション

- プロモーションのネットワークをどうするか
- 道の駅等の提供情報をどうするか

②地域外での総合プロモーション

- プロモーションのあり方、方法として何があるか
- プロモーションで伝えるべき情報はなにか

③プロモーションを展開する主体

- 地域内でのプロモーション別の主体を想定する
- 地域外プロモーションの主体を想定する

今後の予定 ➡ 次回の分科会は、平成19年11月21日（水）に開催します

<主な検討内容>

- 道の駅等をハブとする地域内のネットワークづくり
- 地域外知名度アップのための持続的プロモーション展開

意見を募集します！

産業振興分科会以外の幹事様からも積極的な意見を募集したいと思います。

右記問合せ先まで
ご連絡下さい

● 問い合わせ・連絡先

紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会

<事務局>

東紀州観光まちづくり公社

<問合せ先>

□紀北事務所（担当：松田）

電話：0597-23-3784

FAX：0597-23-3785

E-mail：matsuk15@pref.mie.jp

□紀南事務所（担当：大崎）

電話：0597-89-6172

FAX：0597-89-6184

E-mail：oosaki@kassay.org